

経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉東松山市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
90,651	13,805	第2種該当	-	7：1

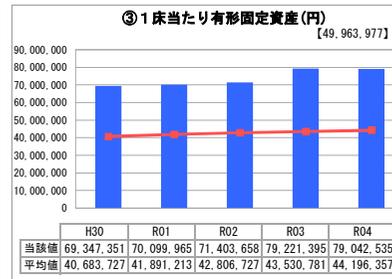
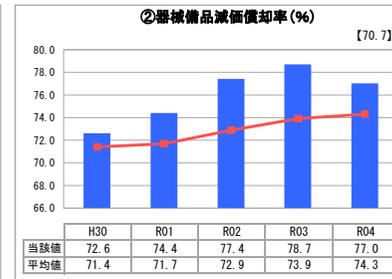
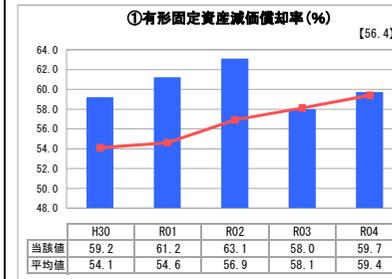
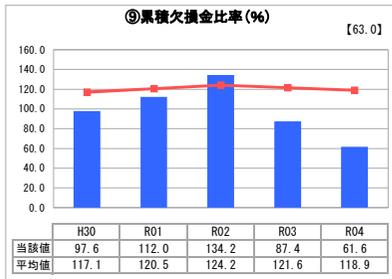
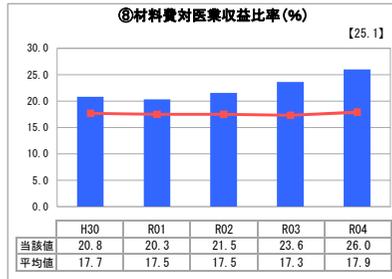
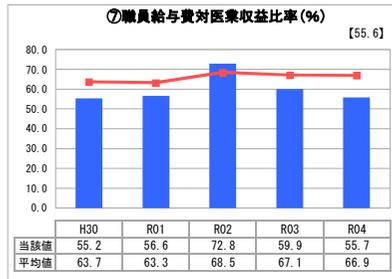
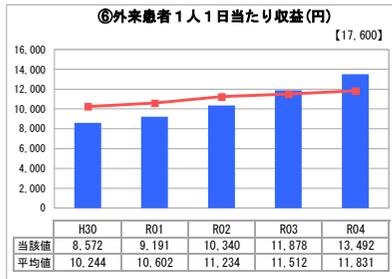
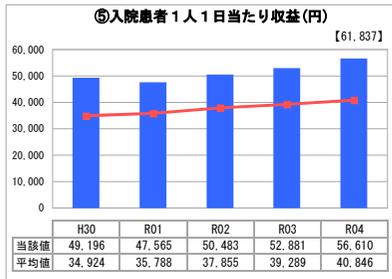
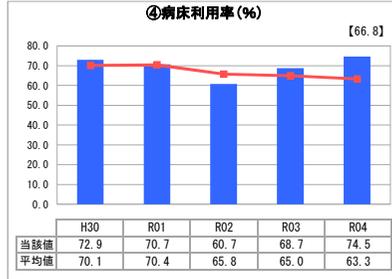
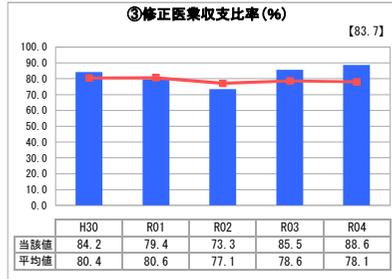
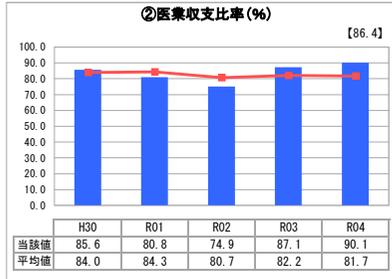
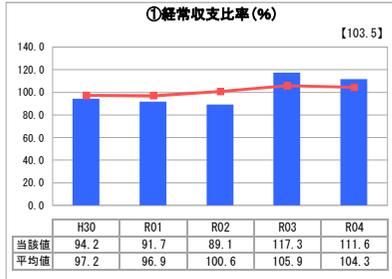
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	114
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
105	-	105

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来のネットワークを基盤)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

比企地域のほぼ中央に位置しており、川越比企保健医療圏内唯一の公立病院です。二次救急医療や感染症医療などの政策的医療のほか、1・2の診療科を有する身近な総合病院として地域住民に安定した医療を提供しています。

地域における医療ニーズに応えられるよう、近隣医療機関や施設等との連携と機能分化を推進しながら、持続可能な地域医療提供体制の確保に貢献します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

内科・整形外科を中心に、入院、外来ともに患者数及び診療単価が増加したため、医業収益が増加し②医業収支比率、③修正医業収支比率が改善する結果となりました。なお、②、③の指標が改善した一方で、①経常収支比率が前年度と比べ減少した原因は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入の減によるものです。

また、職員給与費及び材料費は、前年度と比較しても増加しましたが、医業収益の増加幅が職員給与費の増加幅よりも大きかったことにより、⑦職員給与費対医業収益比率は改善しました。他方の⑧材料費対医業収益比率は、材料費の増加幅が医業収益の増加よりも大きかったため、比率が高くなる結果となりました。

2. 老朽化の状況について

令和4年度に一部の高額な医療機器の更新を行ったこと等により、②器械備品減価償却率が減少しました。器械備品については、経営的な側面からも安全性が確保できるものは法定耐用年数を超えるものでも可能な限り修繕等に対応し、特に老朽化が進むMRや手術用機器等は更新・新規導入が今後必要になることから、財源の確保を含め長期的な視点に立って計画的に実施していきます。

なお、建物関係については、許可病床数よりも広いスペースを確保しており、現許可病床数の1床当たりの有形固定資産は、割高になる傾向があります。

全体総括

患者数及び診療単価が増加したことにより、医業収益を増加させることができ、経営の健全性・効率性の指標は改善傾向となりました。令和3年度、令和4年度に経常収支比率100%超となったのは、補助金収入や繰入金に依存しているため、引き続き医業収益を増やす取り組みが必要と考えます。今後も施設・設備の最速化を図り、効果的な設備投資を計画的に行うことで、健全な経営を目指します。また、地域における医療ニーズを的確に把握し、関係機関との連携しながら地域医療に貢献していきます。

令和4年度に策定した経営強化プランに基づき、本院の方向性と地域での役割を明確にし、地域が求める急性期を主体とした中核病院を目指します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。